

平成27年度第1回学校評議委員会報告

岩手県立福岡工業高等学校

1 期 日 平成27年6月25日(木) 14時00分～15時30分

2 場 所 旧都市工学科実習棟2階総合実習室

3 出席者

評議委員	佐藤 純	前同窓会長
	小田島 新	岩手県立二戸高等技術専門校 校長
	沢藤 幸雄	東光コイルテック株式会社代表取締役
	沢田 光広	前PTA会長
	長谷川美恵子	前母親委員
学校側	三田 章徳	(校長)
	山口 正行	(副校長)
	朝倉 衛	(総務部長)
	坂川 章浩	(教務部長)
	兼田 国博	(生徒指導部長)
	鳥居 郁夫	(進路指導部長)

4 学校側の概要説明

総務部(朝倉)

- ・PTA総会の参加率が17.2%と若干上昇したが、依然として低いので休日開催も含めて検討したい。
- ・一斉メール配信を実施している。

教務部(坂川)

- ・学習規律の早期確立、基礎学力の向上、授業力の向上に取り組んでいる。
- ・外部との連携促進及び学校から外部への情報発信の充実を図っている。

生徒指導部(兼田)

- ・H26年度は、整容指導については徹底するのに時間のかかる生徒がいた。創立50周年記念福工祭の成功及び部活動の活躍について報告する。
- ・H27年度は、整容指導について基準を明確にし、学年単位での点検指導を実施した。その結果、違反生徒が減った。
- ・4月の開校記念日と高総体期間に奉仕活動。9月にはロータリークラブと共催して3回目の奉仕活動をみたけ支援学校二戸分教室中等部と協同で行う。
- ・今後の課題はみたけ支援学校併設にともなう諸問題を解決すること。

進路指導部(鳥居)

- ・平成26年度の進路決定状況
- ・平成27年度3学年進路希望状況

5 提言

(1) 学力向上について

【質問】学力向上についてどのような対策がなされているのか知りたい。(小田島)

(回答) わからないとアピールしない生徒が多いので、授業中あてながらその場で理解度を確認している。(坂川)

【意見】社会人として世の中に出す以上、恥ずかしくないよう、基礎学力を付けさせたいのできめ細やかな指導が必要。(小田島)

【要望】最近、基礎学力が低い生徒が入社している。性格はいいが最低限の教育を学校にお願いしたい。(沢藤)

(2) 外部との連携、情報発信について

【意見】出前授業はPRになる。工業高校は、実践、体験が主体であり、中学生が将来を模索する上で、いい機会となる。

【意見】PTA総会は平日だから少ないのではないか。PTA活動を盛り上げて子供たちの健全育成を図りたい。

【意見】福工の情報発信はすばらしい。You tube 等で動画が使えるので活用されたい。

(3) 進路指導

【意見】管内希望が少ないので、将来を担う子供に是非二戸に残って欲しい。

【要望】自動車販売及び整備の仕事に関して言えば、車が好きなことが第一条件であるが、お客様への説明力やコミュニケーション能力がないと仕事ができない。人間総合力が必要。技術をとおして人間性を磨いて欲しい。

(4) 生徒指導

【意見】IT社会で、メール配信はコストをかけて実施しているようだが、メールと紙とでは脳の働く場所が違うので専門家と連携を密にしたい。

【要望】今の子供はスマホ等の使用により言葉を交わさないので、人間関係が希薄である。親子関係もその影響を受けている。学校でもスマホ等の使用についてどこまで良くどこまでが悪いのかということを理解させて欲しい。

校長謝辞

学力向上、資格取得、学校のPR、PTA総会、指導しつけなど貴重な意見をいただいた。担当の部署で考えやっていきたい。昔と違い、手のかかる生徒が多くなってきているが、今後ともご協力お願いしたい。